



# 学 校 便 り 琢 磨

第9号 R2.6.22 三豊市立詫間小学校

## 水泳学習が開始されました！

本日、6月22日（月）から、体育の授業での水泳学習が始まりました。

新型コロナウイルス感染防止のため、本年度の水泳学習を中止する市や町もある中、子どもたちが、学校のプールで泳ぐことができること、校長として本当にうれしく思います。正直なところ、「今年の水泳はあきらめなければならぬかも…」と、不安に思っていた時期もありました。

詫間小学校の皆さんには、「長い間、お待たせしました！」と言いたいですし、本校の教職員には、「休校中にプール掃除をし、今日まで、子どもたちが泳ぐことができる日を信じて、よく準備を進めてくれました！」と言いたいです。

本日は、水泳開始の初日ということで、時間割を変更して、全学年が水泳をすることができました。三密を避けるため、プール開きの行事は行いませんでしたが、各学級でプール使用の注意を聞いた子どもたちは、少し冷たい水の感触を存分に味わっていました。



## 校長先生は、整備が趣味？

一輪車のパンクを直していますと、「校長先生は、色々な物を修理するのが趣味ですか？」と、多くの児童の皆さんや、保護者の皆様から言われます。結論から言えば、そのとおりです。10年前に本校で教頭をしていた時から、「一輪車の整備係」をはじめ、色々な物を修理していました。自転車のパンク修理の仕方は、私が小学生の頃に、父親から教えられたのです。どうしても私の力量では修理できない物は、プロの自転車店の方をお願いしています。

本校の一輪車もかなり古くなってきていますが、私もできる限りがんばりますので、大切に 부탁드립니다。



## 本校の新型コロナウイルス感染防止対策等について その8

- ① 6月末まで中止していましたが放課後の陸上・水泳練習は、7月2日（木）から開始します。できる限り練習時の「三密」を防止するため、参加者は、5・6年生の希望者に限り、平日の週3日以内、下校完了17時厳守で、陸上練習と水泳練習を、希望により並行して行います。
- ② 7月24日、25日に、香川県水泳協会主催の小学校5年生から高校生までを参加対象とした「夏季記録会」が開催されるということですが、三豊・観音寺地区の小学校は、地区の水泳記録会も本年度は中止しているということ等で、統一して、学校としての参加はしないということになっています。

### 保護者の皆様へのお願い

先日、メールでお知らせしましたが、三豊警察署交通課から学校に連絡があり、以下のことについて厳しく指導されました。やむを得ず、自動車で送迎される場合は、一時的な停車も含め、指定された駐車場での駐停車をお願いいたします。ご面倒をおかけしますが、ご協力をお願いします。

詫間小学校付近で、登下校時の子どもの送迎のため、路上での駐停車が見られる。交通事故の危険性があり、通行の妨げになっているので、路上での駐停車は、絶対にしてははいけない。警察としても巡回を行うようにする。

2週間だけの転校生

私が、小学校の3年生か4年生の頃、私のクラスに突然、転校生がやってきました。その頃、私の学校では、転校生は非常にめずらしかったのです。それに加えて、たった2週間だけ私たちのクラスで勉強して、すぐまた転校して行くというので、とてもびっくりしたことを覚えています。

ある夏の日の朝、その女の子は、おどおどしながら（そう見えたのですが）先生に連れられて教室に入ってきました。驚くほど色が白く、小さな女の子でした。名前を言ったとは思いますが、聞き取れないくらいの声で、全く笑顔もありませんでした。私たちも、初めての転校生で、どう接したらいいのか分からないというのが本音でした。「〇〇さんは、ご両親のお仕事の都合で、この町に2週間だけいます。2週間経ったら他の県に、またお仕事に行くので、みんなと一緒に勉強できるのは2週間だけですが、みんな仲良くしてくださいね。」と、先生がおっしゃっても、私たちには、どういうことなのか理解することはできませんでした。「席は、真鍋君の隣に座ってください。それと、〇〇さんは、教科書を持ってないから、真鍋君、一緒に見せてあげてね。それと、真鍋君の班の人は、いろいろ学校のこと教えてあげてね。」と、先生は続けておっしゃいました。そういうわけで、私は、たった2週間だけの転校生と席を並べて勉強することになったのです。

〇〇さん（申し訳ないけれど名前は忘れてしまいました。）は、何もしゃべりませんでした。そして、休み時間に、外で遊ぼうと誘っても、首を横に振るだけでした。先生に言われたので、教科書だけは見せてあげましたが、何を聞いても何にも答えないので、とうとう2週間目は、私も段々つまらなくなって、私から話しかけることも全く無くなりました。

そして、あっという間に2週間が経ち、土曜日の昼前（この頃は、土曜日の午前中も、学校がありました。）、〇〇さんは、黒板の前に立ち、一言だけ「さようなら。2週間、ありがとう。」と言い、私たちの学校を去ってしまいました。

その土曜日の午後、私が帰宅すると、近所に住んでいた祖母が私の家で待っていて、「明日、〇〇温泉で、△△劇団の最終公演（しばいや踊り）があるから、お前も連れて行ってやるぞ。」となり、私は、翌日の日曜日、ハイヤー（タクシー）に乗って近くの温泉ホテルに祖母と出かけたのです。温泉ホテルは、とても立派で、大きなステージがある宴会場には、何百人もの人が座って料理を食べ、お酒を飲みながら、しばいや踊りが始まるのを待っていました。その中で、子どもは、私一人だったと思います。祖母は、商売人だったので、こんな時はとても気前が良く、私にオムライスとオレンジジュースを頼んでくれました。

時代劇や歌が始まりましたが、私は全くおもしろくないので、料理を食べることに集中していました。いよいよ、フィナーレです。この劇団の一番人気の女優さんが、踊りをするのです。そのことをよく知っているお客さんたちは、「よっ、待ってました！」と大きな拍手で、その女優さんを迎えました。

ステージに上がってきた女優さんを見て、私は驚いてしまいました。オムライスに乗せたスプーンを、ポトリと落としてしまうくらいに。何と、その女優さんは、昨日まで私の席の隣に座っていた女の子だったのです。化粧をして綺麗な衣装を着ていても、私は一瞬で分かりました。

その女の子は、踊りがとても上手で、白くて細い指先や、顔の表情まで、何ともいえない大人っぽい踊りをするのです。踊りが終わると、お客さんたちは、ちり紙（ティッシュペーパーみたいな紙）に、お金を包んでくるくるとひねって、それをステージに向けて投げました。それだけではありません。その子は、ステージを降りて、お客さんの席を回り始めます。そうすると、大きな拍手とともに、今度は、その子の手にお札を手渡すのです。その子は「おおきに。」と、何ともいえない笑顔をお客さんに返します。

この1ステージで、何万円（今のお金にしたら何十万円？何百万円？）も稼ぐ、大人気女優さんだったのです。その子は、私の席にもやってきました。私は、恥ずかしくてずっと下を向いていました。その子は、自分から私の手を握り、「本を見せてくれて、おおきに。」と言いました。私は、返事をすることも、笑顔返すこともできませんでした。昨日まで隣に座っていた子とは、まるで違う人でしたから。

帰りのハイヤーの中で、「あの子は、お前のクラスにいた子やろ？お芝居で全国を回っているんやなあ。土曜日の午後と日曜日は、立派な女優さんや。日焼けしたらいかんから外で遊べんらしい。すぐに転校するから、仲良くなったらお別れが悲しいから、あまり、仲良くなならないようにしているらしいよ。」と、祖母から聞かされ、この2週間の出来事が、私の中で完全につながっていったのです。